

情報モラルちょっと授業

～10分で指導する情報モラル～

対象学年	中学校2年生
------	--------

領域	道徳
指導項目	「ケータイメール」 携帯メールのマナーを守る

<u>情報モラル指導モデルカリキュラム</u>			
分野	情報社会の倫理		
コード	1-a-4	指導事項	情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する ▼携帯のマナーを守る
指導のねらい	中学生の時期は、自らの欲求や一時の衝動に流されやすい傾向がみられるため、望ましい生活習慣を身に付けることを理解させる。		

科目・活動との関連	「ケータイメール」という道徳資料をみんなで読み、“調和と節度ある生活を送ることが大切である”という実感をもたせる。その後、アンケートを実施し、「終末」時に活用する。		
利用教材(サイト等)	中学校道徳 「自作資料集」松原好広 編著 アンケート用紙		

学習の過程(40分)	指導法	指導の留意点
携帯電話の使い方について発表させる。	① 生徒の意見をまとめる。 「悪口などはずっと残るものである」など ② 「ケータイメール」をみんなで読む。	・資料にある「会話を大切にすること」。 ・「友達の悪口はかかないこと」。 この2点を意識させる。

子どもの反応	アンケートは、興味をもって素直に答えていた。
実践の評価	友だちなどと「話すこと」が減ってしまい、思っている以上に自分が携帯電話のメールを使っていることに驚いている生徒が多かった。

指導のポイント

<ul style="list-style-type: none">・読み物だけでなく、アンケートを実施し、意見を発表し合うことで、興味をもたせる。・アンケート実施により、自分を振り返らせる。・“困ること”だけではなく、携帯電話は、便利であるという利点もあることを伝える。
--